

ベトナムにおける遺伝性血管性浮腫（HAE）の診断方法の確立・治療の強化、ガイドライン策定の支援事業

【背景】

- ベトナムにおけるHAEの疾患認知度は極めて低く、診断率も低い（約4%）、検査・診断技法も確立されておらず、治療の中核拠点や治療のガイドラインも整備されていない。
- ベトナム保健省、学会、医師は、HAEの環境改善をしたいと考えている。

【事業目的・事業概要】

- 初年度（令和3年度）**：ベトナムの医療従事者に対する疾患啓発と能力強化、現地版HAE診療ガイドラインの策定開始
- 二年目（令和4年度）**：検査・診断技法の確立、現地版HAE診療ガイドラインの策定、ベトナム国民への疾患啓発、中核拠点（Center of Excellence: CoE）構築とフォローアップ体制整備に関する検討開始
- 三年目（令和5年度）以降**：CoE構築とフォローアップ体制の整備、医療機関の連携体制の確立、新規HAE治療薬の販売承認取得と保険収載を通じた医薬品アクセスと治療率の改善、他地域への横展開による日本を中心としたアジアのHAE/希少疾患治療エコシステムの創出

